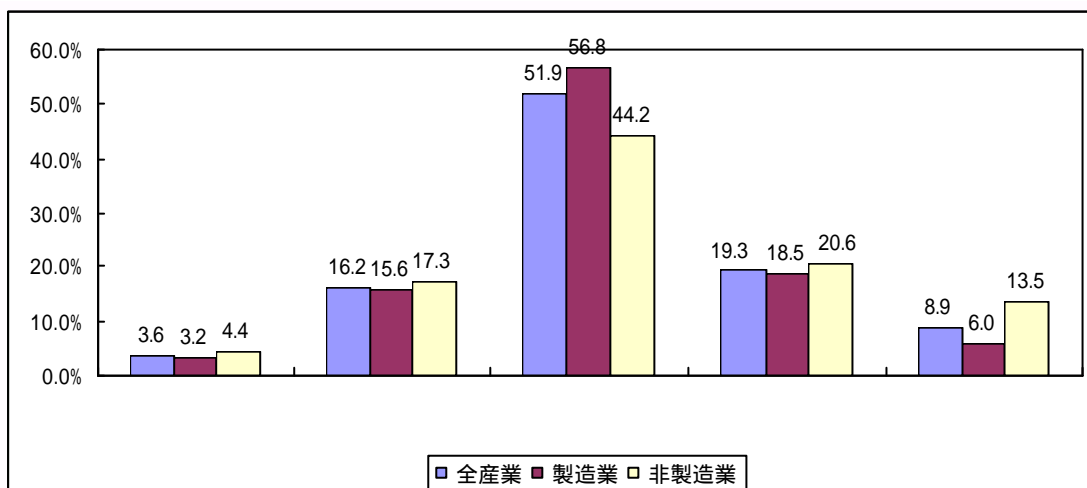
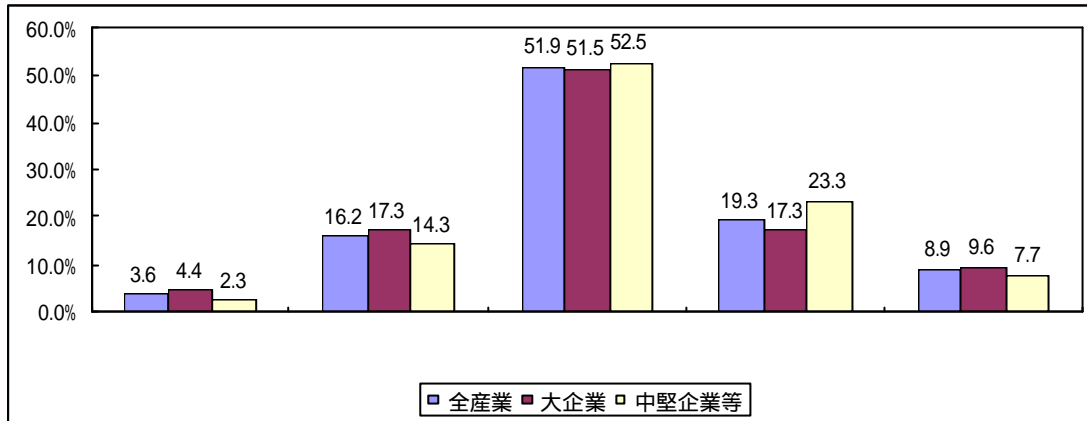


1 3 . 設備投資計画の見通しについて

(1) 今後の設備投資計画の見通し

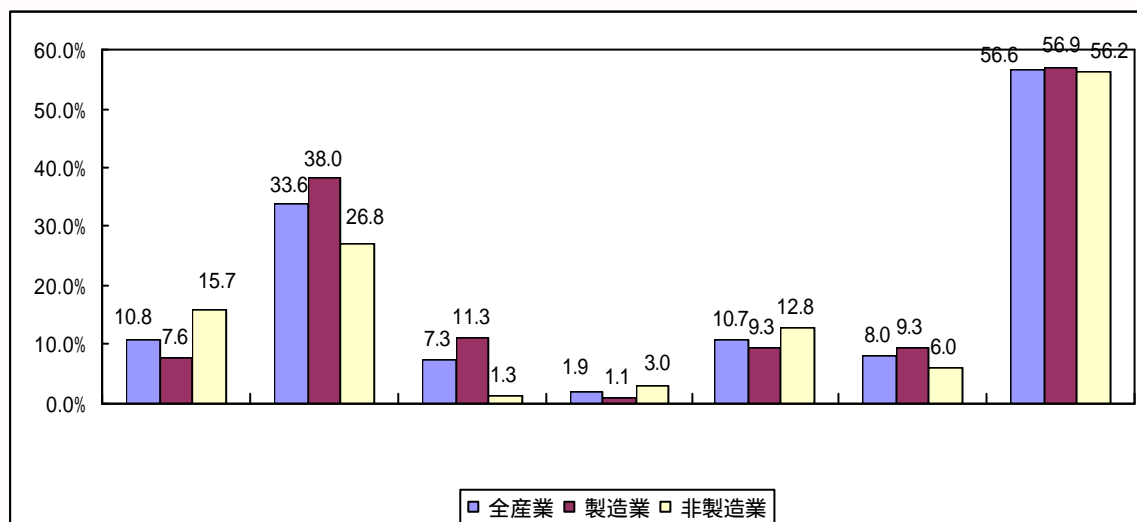
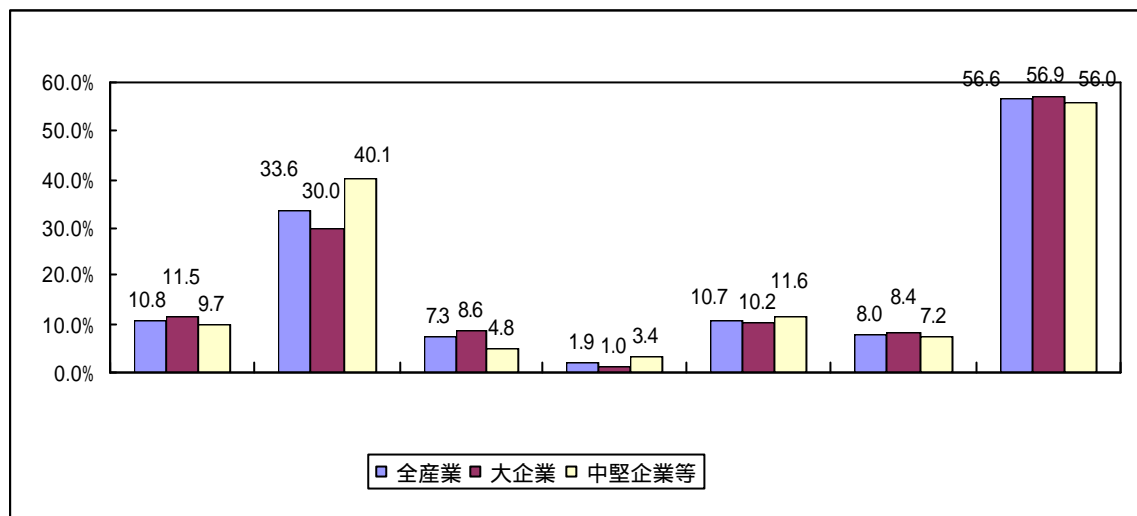
a . 今後の設備投資についての考え方



国内景気動向にかかわらず、投資拡大
国内景気の回復状況にもよるが、基本的に投資拡大
国内景気動向にもよるが、基本的に投資抑制
国内景気動向にかかわらず、投資抑制
その他

ｂ．平成１４年度の設備投資が増加する要因

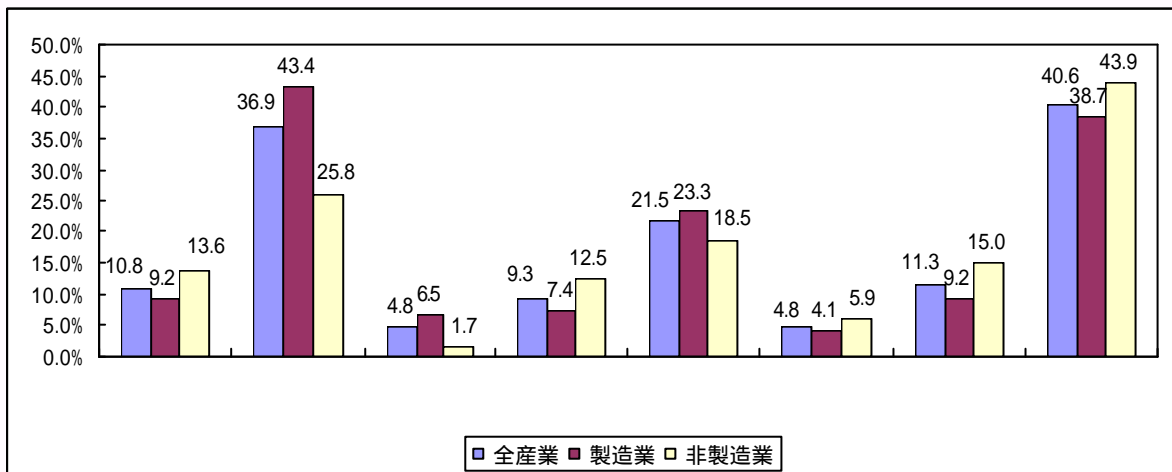
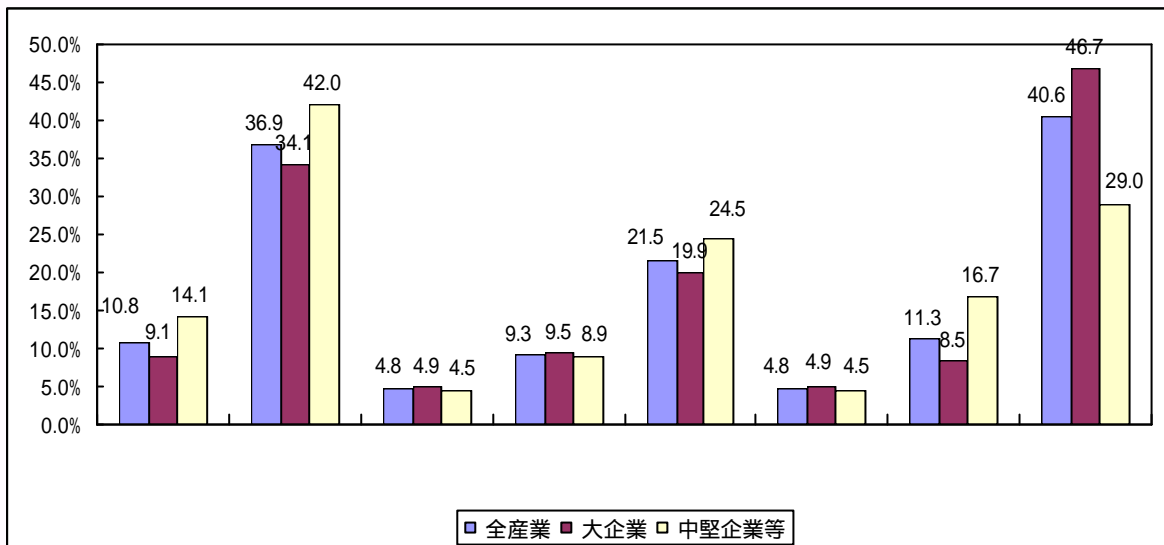
(複数回答)



個人向けの需要・販売が増加
 企業向けの需要・販売が増加
 輸出の増加
 公共事業が増加
 収益・キャッシュフローが増加
 法規制の強化、変更 (環境規制強化、出店規制の変更等)
 その他

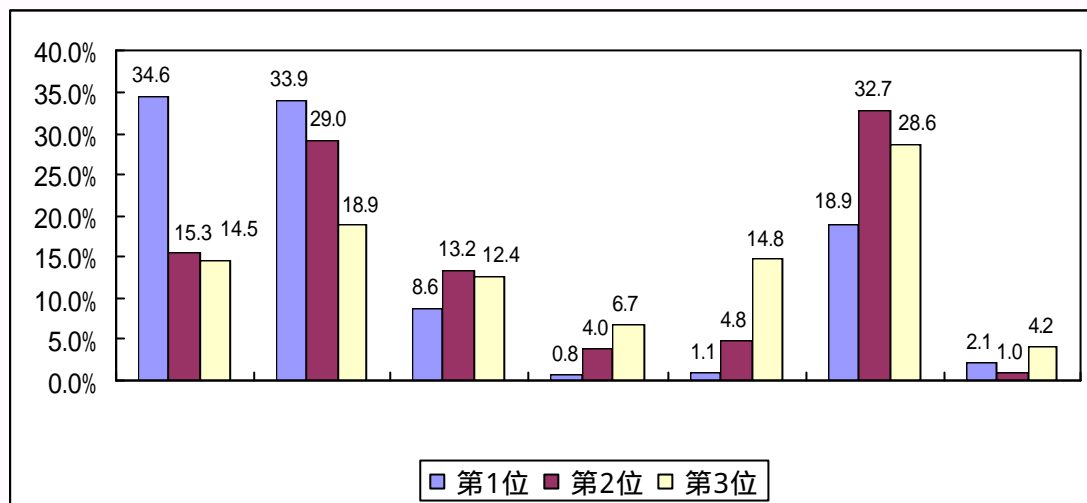
c . 平成 1 4 年度の設備投資が減少する要因

(複数回答)



- 個人向けの需要・販売が減少
- 企業向けの需要・販売が減少
- 輸出の減少
- 公共事業が減少
- 収益・キャッシュフローが減少
- 設備投資の工事単価、資材価格の減少
- リースへの振替
- その他

(2) 今後、設備投資を増額する場合の重点項目



生産能力増強
 更新・維持・補修
 研究開発投資
 省エネルギー投資・新エネルギー投資
 環境保全投資
 合理化・省力化投資
 その他